

報道関係各位

2025年10月16日
株式会社サンシャインシティ

サンシャイン水族館より嬉しいお知らせ

ケープペンギンの赤ちゃんが1羽誕生

生まれたての赤ちゃんの姿と仔育ての様子が間近で観察できる

サンシャイン水族館「草原のペンギン」水槽にて

※鳥インフルエンザの流行により展示を休止する可能性があります。



生後2日目の様子（10月15日）



展示の様子（間近で観察できます）

サンシャイン水族館（東京・池袋）では、**ケープペンギンの雛1羽が10月14日（火）に誕生**しました。
今回誕生した雛の両親は「**ピンクライム***1（オス）」と「**くるみ**（メス）」のペアです。**このペアの孵化は今回が初めて**となります。サンシャイン水族館では産卵後に孵化の確率を上げるため、一時的に卵を預かり、**孵卵器**で温め、**孵化数日**前に親元に戻しています。また、**生まれて間もないケープペンギンの雛と仔育ての貴重な様子を見ていただきたい**という思いから、「**草原のペンギン**」水槽にて、**孵化直前の卵から展示しております**。サンシャイン水族館として**1年半ぶりの誕生となるケープペンギンの雛は現在、両親の足元で元気に過ごしています**。親が口移しで雛にエサを与えたり、羽繕いしてあげるなどの両親の仔育ての様子も約2mという間近な距離で観察いただけます。耳を澄ましていると、雛が時々ピピピと鳴く声も聞こえてくるかもしれません。

ペンギンの雛は孵化後も引き続き両親とともに屋外エリア マリンガーデン「草原のペンギン」水槽で展示していきますが、**雛がふわふわとした綿羽に包まれた状態は生後60日頃（12月中旬）までとなりますので、今しか見ることが出来ない大変貴重な姿をぜひご覧ください**。足元で過ごすため両親の間からひょっこり顔を出す雛の愛くるしい姿が見えるかもしれません。見えづらいことありますが、ペンギンの親子を観察する際は、温かく見守っていただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

なお、無事に育った際には、**ケープペンギンの雛の名前は、飼育スタッフが考えた愛称候補の中から、来館したお客様の投票で決定する予定**です。サンシャイン水族館では今後も飼育技術を駆使し、生き物の繁殖や種の保存にも努め、展示を通してお客様に「ココロ動かす、発見」と感動を提供してまいります。

*1：個体識別のため、ペンギンの翼の付け根にカラーリングを付け、このリングの色をペンギンの名前として使っています。

■ケープペンギンの親仔のデータ

雛
2025年10月14日（火）孵化
性別：不明※ 体重：68g（生後2日目時点）

※ペンギンの性別は外見から判断することが難しく
確実な雌雄の確定は、成長後のDNA鑑定が必要

母親 **くるみ**
年齢：7歳（2022年6月3日にフリーディングローンにて横浜・八景島シーパラダイスより来館）
産卵：初めての産卵

※フリーディングローンは後段をご参照ください

父親 **ピンクライム**
年齢：15歳（2010年3月1日にサンシャイン水族館で誕生）



孵化直後・生後1日目の様子（10月14日）

※画像はイメージです。※状況により、内容・スケジュールが変更になる場合がございます。

報道関係者様からの
お問い合わせ先

株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・大木・佐藤・藤村・小山・大浦
TEL.03-3989-3329（平日9:30～18:00） FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp

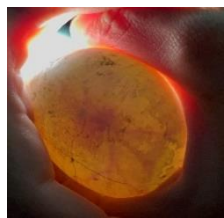
共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部5局2部 内山・志野・高橋
TEL. 03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp

サンシャイン水族館のペンギンの繁殖

サンシャイン水族館で飼育しているケープペンギンは、毎年10月から春先にかけて繁殖の時期を迎えます。2025年9月5日（金）に「くるみ」の産卵を確認、産卵から37日目（土）に卵の殻を内側からくちばしでつつく、嘴打ち（はしうち）が確認され、**10月14日（火）に無事に孵化しました。**今後、ペンギンの雛は、自力でエサを食べる練習や水の中で泳ぐ練習を重ね、他のペンギンたちと「草原のペンギン」水槽の仲間として引き続き展示していく予定です。

■ 卵～生まれるまで

📷 9月5日 メスの「くるみ」とオスの「ピンクライム」ペアの初めての卵を確認！



☞受精をした卵に光を当てると血管が見えます。



☞卵の中で雛が成長していくと、光を通さなくなります。

卵の成長が進むとデジタル検卵機にて微細な心音をキャッチします。



「検卵」について・・・

産卵から孵化までに定期的に続けられる検査。真っ暗にした部屋で卵にライトを近づけて照らすと、殻の中の網状の血管が浮き出します。検卵では重量の計測、胚（はい）や血管の観測、心拍の確認を行います。野生のペンギンが卵を数分間外気にさらす行動「放冷」も再現するため、検卵作業時に5分程度外気にさらします。



ふらんき
【孵卵器で卵を温めました】

☞メスの「くるみ」とオスの「ピンクライム」のペアの初めての産卵ということから孵化確率を上げるため、今回は大事をとって卵を一時的に孵卵器で預かることにしました。その間次の産卵をしないように、本物の卵に似せた「擬卵（ぎらん）」を抱かせます。

孵卵器は人工的に温めるため、丁寧な温湿度管理が重要です。預かった卵が無事に孵化するようにこれまでの知識と技術を集約して管理し、また次の繁殖のペアのためにデータを蓄積することが大切です。



サンシャイン水族館
ペンギン担当
よくら りょうた
與倉 陵太

擬卵（ぎらん）についてのマジメな話・・・

ケープペンギンは基本的に40日前後の期間、卵を温め続けます。しかし、産卵してすぐに卵がなくなってしまうと、次の卵を産むために身体が準備を行い、本来よりも短いスパンで次の産卵が始まることがあります。これが常に起きるといってはペンギンにとっても自然なことではなく、負担にもなります。この負担を少しでも軽減するために使用しているのが擬卵（ぎらん）です。

ペンギンに擬卵を渡すのには、状況によってパターンがいくつかあります。

・成長確認/抱卵練習のため

産卵してから10日前後で、一旦卵を回収し、成長しているか記録を取りながら調べます。成長が確認された卵を親鳥が放棄してしまうことや、本物の卵が破損するのを防ぐために、孵卵器で温めながら育てる場合があります。その間、卵を抱いていない状態というのは親鳥にとって自然ではないため、代わりに擬卵を渡します。孵化までの間も親が「卵を抱く」という本来の行動を継続し、子育てへの意欲を保ちます。

・卵の成長が確認されなかった場合

孵化することはないため卵を回収して、代わりに擬卵を渡し、40日程経過したら回収します。

・遺伝的な多様性を保つために繁殖の調整をおこなう必要がある場合/過密飼育を避けるため

水族館で繁殖計画を立てる場合、近親交配を避けるために積極的に繁殖を行わないことがあります。また、卵をすべて孵化させた場合、収容能力を超えて過密飼育となり、かえって生物を苦しめることに繋がる恐れもあります。そのような場合も卵を回収し、擬卵を渡しています。

10月11日 AM 卵が産まれて37日目。卵を親元へ返しました。孵化まであと少し


👉 ケープペンギンの卵は、約38～40日で孵化します。孵化するまで親ペンギンに卵を温めてもらうため、卵を親元に戻します。

卵の重さは発生(成長)とともに軽くなる性質があります。この時の卵の重さは85g。約1か月前に計測した時は95gでした。



10月11日 PM 雛の嘴打ちを確認、いよいよ…


はしう
👉 雛の嘴打ち※がはじまりました。ここから卵の殻を破って孵化するまでは、24時間～48時間かかります。

※嘴打ちとは…
鳥の雛が孵(かえ)る前に、卵の殻を内側からくちばしでつくこと。

ペンギンの雛には、**卵歯(らんし)**と言って、卵を割るためだけの突起があります。生まれてから1週間～10日程で自然と消失してしまうため、知っている人は少ないのではないのでしょうか。



卵歯

嘴打ちから孵化まで今回は48時間超。通常より長かったため、内心はかなりドキドキしました。ただ、孵化後に親鳥からエサをもらっている様子も観察でき、ホッと胸を撫でおろしました(担当者談)。

雛を展示するための環境づくり 飼育スタッフお手製の巣穴

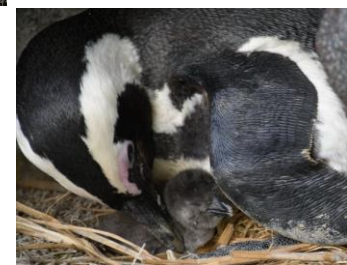

before



after (2024年より環境づくりの改善を重ねています)



孵化数日前に卵を親元へ戻した様子



親の足元にいる雛

サンシャイン水族館では、お客様に間近で生まれたての雛の姿と子育ての様子を見ていただきたいという思いから展示面にて両親が安心して、子育てができる環境を整えています。

工夫点> ・卵が転がり出ないようにくぼみのあるマットの導入

・雛誕生後も3羽がゆったり過ごせるスペースをとるため巣の床面積を拡張

・日よけの設置 など

ブリーディングローンとは…

希少な動物を絶やさず増やしていくために、動物園や水族館同士で動物を無償で貸し借りする制度。協力して種の保存を実行する繁殖を目的とした動物貸与のこと。

全国の動物園や水族館では種の保存のため日々努力をしていますが、それぞれの園館だけで増やしていくことはとても難しく、血統的にも偏りが生まれます。そこで、ブリーディングローンによって希少動物の繁殖の機会を増やす取り組みを、全国の動物園・水族館間で実施しています。このような活動は、希少な動物は個人や動物園・水族館の持ち物ではなく、世界共通の財産であるという考えに基づいており、JAZA(日本動物園水族館協会)の種保存事業にも位置付けられ推進されています。実際にブリーディングローンの実施により、希少動物のペア飼育や群れ飼育が進み、繁殖に成功している事例が増えてきています。

関連ニュースター:

<https://co.sunshinecity.co.jp/archives/007/202306/2a572ff05ce42f194fbd4100f6b55e2.pdf>

■サンシャイン水族館(通常営業)概要

所在地: 東京都豊島区東池袋3-1 サンシャインシティ ワールドインポートマートビル・屋上

営業時間: 10:00～18:00 ※最終入場は終了30分前 ※季節・曜日で変動

入場料: 大人(高校生以上)2,600円～3,200円、子ども(小・中学生)1,300円、幼児(4才以上)800円 ※時期や特別営業時等により変動します

問合せ先: サンシャイン水族館 03-3989-3466 <https://sunshinecity.jp/aquarium/>

※土・日・祝日及び特定日は、日時指定チケットの購入または日付指定WEB整理券の取得をおすすめします。詳しくは、水族館 ウェブサイトをご確認ください。

ケープペンギンとは…

ケープペンギンは、アフリカ大陸に生息する唯一のペンギンです。体長約60cm、体重3～4kgほどで、ペンギンの仲間の中では中型種類に分類される大きさ。主食はイワシなどの小魚で、水中でエサを取り、岩場の隙間や藪の根元に作った巣の中で卵を温めます。

詳細はこちら

(<https://sunshinecity.jp/aquarium/animals/penguin.html>)

